

## 「落語と私」 その貳拾九

### 三代目 橘ノ百圓

皆さん大いに笑ってますか!?6月号が休刊と成り、寂しい思いもしましたが、地球的には終息の兆しもみえて来てます。

もう一踏張りです。

今月は前号の予告通り「饅頭怖い」を取り上げますが、この噺は「目黒のさんま」共々皆様方ご存知の噺ですネ。只、皆さんが知っていると言うのは、演者にとって、中なか難しいのですヨ。当然、登場人物は承知しているし、中身も大体理解済みだし、落ちまで分っているのですから。この噺は前座噺では無いのですが、マア前座さんが高座に懸けても、小言は喰わないと思います。割と時間調整の利く噺ですから。近頃余り聴かない噺です。去年の11月に「談幸の会」で、前座の幸七さんが、10分ほどで演ってました。久しぶりに聴いた感じです。只、本格的に演じると20分は掛かる噺ですから、前座さんには無理が在ります。

この噺は、中国の笑話の「饅頭を怖ふるはなし」として載っていますが、上方から東京に移したものと思われます。上方では大根多で1時間掛る時も在ります。それぞれの怖い話の中に「九郎藏狐<sup>くろうざうきつね</sup>」を入れたり、身投げの娘と関って怖い思いをしたり、色々な話題が満載ですから。今は亡き、二代目桂枝雀師の噺を聴いた時は「エッ!『饅頭怖い』って、こんなに長い噺なんだ」と驚きました。この噺も友達が勢集まってバカッ話をしていると、遅れてやって来た男が「近道の途中で青大将に会って呑まれるんじゃねえかと思った」と自分の怖い物の話を切掛に、皆童心に還って順に怖い物ンの話で盛り上ります。俺はナメクジが嫌い、蛙が駄目<sup>さんすくみ</sup>「三竦揃ったネ」ワイワイガヤガヤ。ここは友達が集まって楽しく話に夢中に成っている感じを出すのが主眼ですが、余り盛り上げると、後半に響きますので、押え気味が良いですネ(これは演出法ですが)トッ!ここに普段から天邪鬼な留さん(松ちゃん)が、一人無然とした表情で、話の輪に加わろうとはしない「留さん」「何ンでエ」「皆んなが子供に還って怖い物ンの話しをしてるんだから、留さんも何ンか怖い物ンが有るんだろ!?」「冗談言うねエ、万物の靈長たる人間様が、怖エ物ンなんか有ってたまるけエ。エッ!蛇が怖い、俺なんざア、チョイト頭の痛い時は、蛇イ鉢巻の代りに頭に巻くんでエ、ヒンヤリして気持ちが良いし、鉢巻の方から締めしてくれるんで、手間が省けて良いや)(中略)ここから、お馴染の納豆と蜘蛛、蟻と胡麻塩の話に移るのですが、サア、これからが留さんの智慧のみせ処、急に何かを思い出した様に青い顔に成る!(急に青い顔に成る者ですかネ!)[アッ!イケネエ、思い出しちまった。だから嫌だって言ったんだヨ][何イ思い出したの!?怖い物ンかい][止せヨ][何んだヨ、教えてくれヨ、エツ中にはオケラが怖い何ンでエ奴もいるんだから][言っても良いけどお前エ達笑うから][笑いやしないヨ、何?何ンなの?][饅頭][エッ!?][饅頭だヨ][饅頭ってどんな獣!?エツ、食う饅頭?あの腰高饅頭とか!?][アア怖い!][栗饅頭?][アア怖い、値の張るものほど怖い。体の震えが止らねエや、チョイト横に成らしてもらおうヨ][アアそうしなヨ、隣の部屋が空いてるから、自分で布団敷いて寝てなヨ・・・オーイ、皆んな集まれヨ、野郎饅頭が怖いんだってヨ、イヤあの野郎普段からどうも気に入らねエんだヨ、他人<sup>ひと</sup>が右てエと左、左てエと右、チョイト懲らしめて遣ろうじゃねエか][どうすんの!?][野郎の枕元に饅頭を山

に積んで、奴の怖がるのを見て<sup>からかう</sup>揶揄してエのはどう  
 でエ」「お止しヨ、饅頭と聞いただけであの始末  
 だヨ、本物見たら、目エ回しちゃうヨ、下手したら  
 死んじゃうヨ、饅頭で殺して“アンサツ”何ンてエ  
 のは洒落に成んないヨ」「良いヨあんな奴、生きて  
 たって世の中の為に成る訳じゃ無エんだから」(中  
 略)ここで淋しい懷を叩いて色んな饅頭を買って来  
 る。集まったの何んの、<sup>とう</sup>唐饅頭、<sup>くず</sup>葛饅頭、そば饅頭、  
 腰高饅頭、栗饅頭、中華饅頭に葬式饅頭(葬式饅頭は、その場で直ぐに買えるのですかネ!)留さんの寝て  
 いる枕元に山と積んで「オーイ、留さん気分はどうだい!」「有難う、何ンだか目の<sup>ま</sup>辺りに饅頭が有る様な  
 気がするヨ」「目の辺りに有る様だってヨ。目の辺りを見てみるヨー」サアここで皆んなは留さんがどう成  
 るのか!大きな悲鳴を挙げて、気絶でもするかと大いに期待をして部屋を覗いて見ると「アッ!野郎、怖  
 い怖いと言いながら饅頭食ってるヨ、余ったのを懷に入れてるヨ、一杯食っちゃったヨ、イヤ食われちゃっ  
 たヨ」ここで合の襖を開けて「この野郎!怖い怖いと言いながら饅頭食ってるじゃねエか。お前エ、本当  
 は何が怖いんだ!」「今度は(渋い)お茶が怖い」見事な反対落ちですネ。これは企らんだ側の完敗です。友  
 達全員が「遣られたァ」<sup>とこ</sup>テな処でしょう。



腰高饅頭

出典：<http://sakamitsanpo.g.dgdg.jp/mannjyukowai.html>

まだページが残っておりますので、皆様の落語の疑問について二ツほど、お答えしようと思います。

先ず「道灌」に登場して来る、<sup>にはち</sup>二八余りの<sup>しずのめ</sup>賤女が誰なのか?道灌は文武両道に<sup>た</sup>長け、和歌の名手とされ  
 ています、その少女の出した謎が解けない、考えていると家来の中村<sup>かずま</sup>数馬(柳は中村数馬、三遊は豊島  
<sup>ぎょうぶ</sup>刑部)が進み出て「恐れながら申し上げます。兼明親王の古歌に“七重八重、花は咲けども山吹の、実の一  
 ツだになきぞ悲しき”と言うのがございます。これは、お貸し申す<sup>みの</sup>蓑と実を掛けてのお断りかと存じます」  
 この有名な一節ですが、この十六、七の賤女は誰なのか!?資料によりますと、<sup>べにざら</sup>紅皿と言う少女、この<sup>のち</sup>後、  
 道灌公に招かれて、歌の指導をしたと記されています。因みに、この兼明親王の歌は、『後拾遺和歌集』に  
 収められています。又、道灌公の歌は皇居富士見櫓前の碑に“わが<sup>いよ</sup>庵は、松原つづき海ちかく、富士の<sup>たかね</sup>高嶺  
 を、のきばにぞ見る”数多くの歌を残したのですが、私はこれしか知りません。又、少女に和歌を出され  
 ても「わかんない」<sup>な</sup>テな返事ですネ。

次に「金明竹」に出て来る<sup>ななしな</sup>道具七品について書きますが、前述の「道灌」も「金明竹」も前座噺です。では、  
 道具七品の講釈ですが「(前略)道具七品のうち①<sup>ゆうじよ</sup>祐乗、<sup>こうじよ</sup>光乗、<sup>そうじよさんざく</sup>宗乗三作の<sup>みどころもの</sup>三所物、並びに②<sup>おきふね</sup>備前長船の  
<sup>じゆうのりなつよこやそうみんし</sup>住則光横谷宗珉<sup>し</sup>四分一<sup>い</sup>拵<sup>こづか</sup>之新小柄付きの脇差し、あれ柄前が古鉄刀木言うてございましたが、埋木なそう  
 で、木イが違うてございますのでチョトお断りを申しておきます。じざいは③<sup>おうぼくさん</sup>黄檗山金明竹<sup>と</sup>ずん<sup>と</sup>胴の花活  
 け、あれには遠州<sup>そうほ</sup>宗甫の銘がございませぬ④<sup>おりべ</sup>織部の香合⑤<sup>たがや</sup>ノンコウの茶碗⑥“古池や蛙とびこむ水の音”と  
 申します風羅坊正筆の掛け物⑦<sup>うもれぎ</sup>沢庵、木庵、隠元禅師貼り交ぜの小屏風・・・」です。これを聴いて直ぐ  
 に全てが解る人がいたら尊敬致します。

①祐乗、光乗、宗乗三作の三所物=足利から桃山時代にかけての金属彫刻(腰元彫り)名家、初代が後  
 藤祐乗、二代光乗、三代が宗乗とされ、三所物とは、刀の<sup>めぬき</sup>目貫、小柄、<sup>こうがい</sup>筭(刀の鞘に挿し入れる金属製品)。

②備前長船の住則光、横谷宗珉四分一拵之新小柄付きの脇差＝備前（岡山県）長船村に住む刀の名工則光、横谷宗珉は、江戸中期の横谷家三代目、腰元彫の名人。古鉄刀木。これは銘木屋さんの範疇ですネ。紫檀、黒檀、鉄刀木いづれも唐木の銘木です。埋木は湿気の多い土中に埋れ、半端化石化した樹木。

③黄檗山金明竹ずん胴の花活け＝中国産の銘竹。全体が黄金色で節に緑の縦すじが有る観賞用の竹。

④織部の香合＝松坂城主古田織部が瀬戸赤津の陶工に焼かせた、皆さんお馴染みの織部焼の香合。

⑤ノンコウの茶碗＝京楽焼の名工、三代目楽吉左衛門が焼いた、落語でも知られている“井戸の茶碗”これをノンコウと呼ぶ。

⑥“古池や蛙とびこむ水の音”風羅坊正筆の掛け物＝風羅坊は、松尾芭蕉の雅号（文人、画家などが本名以外につける名。芭蕉の本名は忠右衛門、後に宗房。）

⑦沢庵、木庵、隠元禅師貼り交ぜの小屏風＝沢庵和尚は、有名な沢庵漬の考案者。三代将軍家光の信が篤く、書も有名。木庵は、明の名僧で能筆の名が高い。隠元和尚は、木庵禅師と共に渡来した、日本黄檗宗の開祖、あの隠元豆を明からもたらした高僧。書は茶席の掛軸として珍重される。貼り交ぜの小屏風は、古い書や歴史画などを小さな屏風に幾枚か貼った品。

テな事で今月号は終わりますが、この号が皆様のお手元に届く頃には、新型肺炎の終息宣言が出ていると良いですネ。今回は、笑いの少ない主題と成りましたが、次号は、笑い沢山の噺を探して書きたいと思います。

皆さん頑張りましょう！！



金明竹

出典：<http://ginjo.fc2web.com/113kinmeitaku/kinmeitaku.htm>



「ノンコウの茶碗」

出典：<http://sakamitisampo.g.dgdg.jp/kinnmeitaku.html>